

ワークショップ 町家住人コース

~奈良町の町家に住む学生としての町家の活かし方・地域との関わり方案~

参加メンバー

- ・ゲスト・花澤さん(奈良町の町家住まいを始められた方)
- ・ゲスト・高松さん(鶴福院町自治会長、奈良町の古くからある町家で暮らされている)
- ・奈良周辺の大学に通う学生 → 羅 一采 ・ 東海 葉月 ・ 勝二 奈津紀 ・ 森本 凜太
三鬼 司 ・ 川田 大登 ・ 中村 知尋 (うち奈良市住まい5人)
- ・田中さん(奈良市観光経済部 奈良町にぎわい課)

奈良町で町家住まいを始めた学生になったつもりで、町家の活かし方・住民、地域との関わり方について話し合ってみました。

実際に奈良町の町家に住まわれている方に伺ったお話

話し手：花澤さん

- 町家を間借りし暮らした経験から町家暮らしに憧れ、奈良市内の町家を購入
- 今年春に改築が終わり家族で暮らし始める

町家暮らしに至るまで

- ・外観の修理には市の補助金を利用
- ・町家など中古物件の場合購入の際ローンや控除が効かなかったのが大変だった。

1

2

町家生活で感じた不安

- ・購入時の不安 (建物の耐久性、生活インフラの状況、改修工事の費用、補助金など)
- ・その後の不安 (虫、修繕の必要性、現代の生活との兼ね合い)
- ・地域との関わり (積極性と慎重さのバランス、伝統行事への参加)
⇒自治会の人間関係は繊細な積み重ねの上に成り立っている・・・!



3

4

- ・地域内では若い世代でありながら、地域のお祭りの実行委員会への参加など、地域行事・コミュニティ活動に積極的に取り組まれている

話し手：高松さん

- 改修を繰り返しながら住まわれている築120年以上の町家には、今も虫籠窓や通り庭、離れ庭などの伝統的要素が残る。

1



○例年の自治会活動

- ・新年会(総会、親睦会)
- ・親睦レクリエーション(春か秋)
- ・庚申祭(夏)at 会所
- ・打ち水大作戦(8月)
- ・役員会(年5~6回)at 会所
- ・敬老の日お祝い

*今年コロナで、夏の打ち水大作戦以外に住民同士で顔を合わせる機会が無かった。

2



○自治会の規模、地域住民の参加度

- ・25世帯68名(うち80代~は9名)
- ・未参加は店舗3世帯、マンション住民12世帯→若い世代が入ってきてはいる

3



○自治会の抱える課題

- ・高齢化、生活様式の変化による活力・意欲低下
- ・自治会未加入の店舗・世帯への勧誘
- ・五重塔が見える鶴福院町の町並みを守れるか
- ・人口減、少子化による住民同士の繋がり希薄化

話し合い

奈良町の町家に住む学生としてどう町家を活かしていくか・どう地域と関わっていくか

現状 1

自治会が普段何をしているのか外部から分かりづらい

現状 2

自治会側も入っていない人、若い住人に対して声をかけづらい

? そもそも自治会ってどうやって入るの？

引っ越してきたタイミングで紹介を受け、入ることが多い
気づいたら自治会費を払っているようなケースも

引っ越してくるタイミングが肝？

学生がむやみに入って、自治会内の今まで積み上げてきた
バランスを崩すようなことはないように

周辺の学生にまず興味を持ってもらう・
知ってもらうには、学生にも刺さるきっ
かけ・仕組みが必要

バイト 安い飲食 下宿 Etc.

一人暮らしの学生はお金に余裕がなくな
りがちなので
安く飲食できる・下宿できる

その分
自治会活動に参加してもらう

お互いに明確なメリットがある！

合わさると人が集まりやすい？

? 情報発信や応募はどうすれば上手くいくか

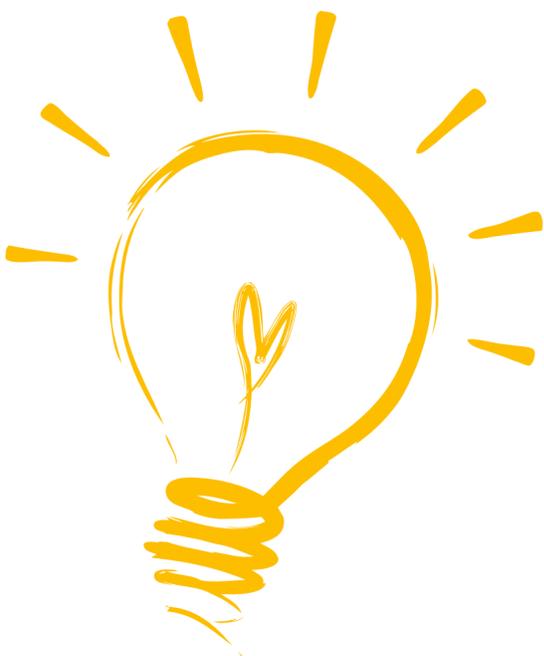
⇒大学では毎年サークル勧誘活動を行っ
ている
✓ 茶話会やSNSでの質問回答が効果的

⇒双方向的なコミュニケーションが行え
ること
✓ ゆるい・気軽な知り合い方

楽しい 強制しない

大学生が地域に関わっていくとしても 4年間で終了してしまう

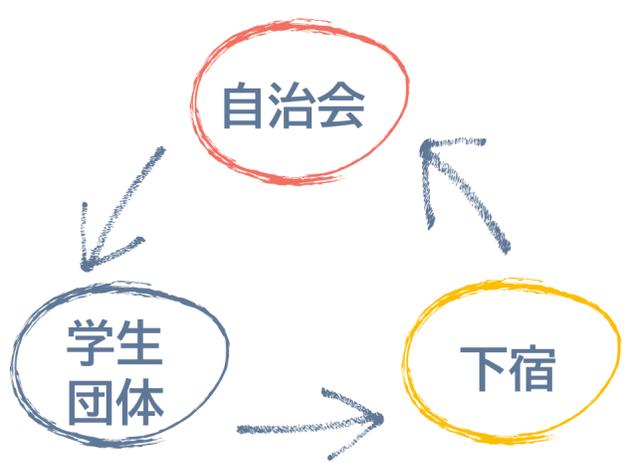
⇒さらに若い世代も活動に組み込ん
でいく事で、長期的に、地域に愛着
を持ったり地域について考えるき
っかけにできる



- ✓ 学生団体を作る
- ✓ 町屋を学生団体や自治会の拠点、かつシェアハウスなどに活用
- ✓ 学生の住む場を自治会、学生団体が斡旋
- ✓ 不動産屋さんとも連携して、学生×地域のつながりを売りに
- ✓ インスタライブ、SNSを使って学生にも発信
- ✓ バイト、安く飲食ができる拠点
- ✓ 小学生とかも巻き込んで、空き家改修とかを遊びの延長線としてやっていく
 - 小学校などと連携
 - 奈良町に自然と愛着が生まれるきっかけに

学生が考えたアイデア案

学生団体を作り・地域と繋げる



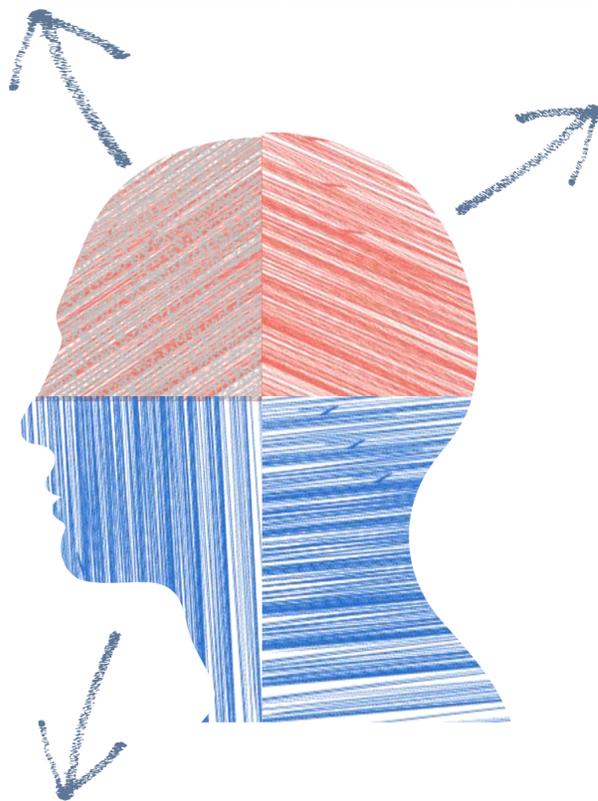
1 町並みを守れるか→自治会+学生団体×下宿



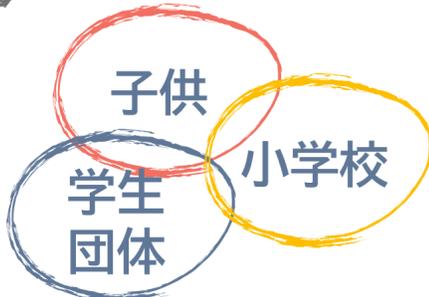
新たな活用スタイル

- 自治体の拠点
- 学生団体の拠点
- シェアハウス化

- ★ 学生の住む場を自治会、学生団体が斡旋することで学生層を町屋に引き込む!
- ★ 学生×地域のつながりをコンセプトに不動産屋さんとも連携をする!
- ★ 町屋を学生団体や自治会の拠点、かつシェアハウスなどに活用し、町並みを保存していく!



2 自治会未加入の方への勧誘→自治会×学生団体



子供の中に地域への愛着



- ★ 学生団体という団体そのものが、自治会と加わることでより新しい代が循環していく形を作る!
- ★ 学生団体の活動に小学校などの地域と連携することや、地域の学校の連携を小学校～高校と長いスパンをかけて連携していくことで、ならまちに自然と愛着が湧ききっかけに!



3 高齢化と生活様式の変化による活力、意欲の低下→学生団体×下宿



若者層を地域に引き入れ地域の活性化

- ★ 学生団体の活動で、小学校などと地域連携・インスタライブ、SNSを使って学生にも情報を発信・バイトや安く飲食ができる拠点を作り、若者層を地域に引き入れ地域の活性化を図る!
- ★ 学生×地域のつながりをコンセプトに不動産屋さんとも連携をする!

ワークショップに参加した感想

・今回のワークショップを通して、奈良について真剣に考えている学生がこんなにも多くいることにすごく感動しました! 今回の2つのコース案は素晴らしいものばかりなので、提案だけに終わらず、実際に実行しようと思い、現在学生団体の運営準備を始めています。応援していただけると幸いです。

・奈良町についての視野が広がる良い機会になりました。多くの人やコミュニティの支えにより、現在も伝統や町家が受け継がれているところが奈良町の良さだと感じたので、これからもそれらを受け継いでいくためにも、住民だけでなく学生の力でも盛り上げていけたらよいと思いました!